

(平成29年) 11月22日 水曜日

信濃毎日新聞



県高校生英語スピーチ・レシテーションコンテストのスピーチ部門で優勝した糸井さん(右)と、レシテーション部門で3位となった百瀬さん

松本秀峰中等教育学校(松本市)5年の糸井千夏さん(17)が、長野市内で12日に開かれた県高校生英語スピーチ・レシテーションコンテストのスピーチ部門で優勝した。4年の百瀬楓香さん(16)は決められた文章を暗唱するレシテーション部門で3位入賞した。2人は小学校からの友人。受賞を励みに、共に国際機関や海外で働く目

標に向けて今後も英語力を磨く。コンテストは清泉女子学院大学(長野市)主催で14回目。2部門に高校生計25人が出た。スピーチ部門は、世界の街を1カ所選んで観光案内を作る、という設定で行った。糸井さんは旅行で訪れたオーストリア・ザルツブルクを選び、歴史や食べ物を紹介。チョコレートケーキ「ザッハ

## 英語スピーチ 好成績

### 受賞励みにさらなる磨き

松本秀峰外国語部員2人

トルテ」を「想像以上に大きく甘く、家族や仲間と分けた方がいい」と説明し、「現地で感じたことを入れ、掘り下げられた」と振り返った。

レシテーション部門は、事

前に決められた三つの文章から一つを暗唱し、発音や表情も出場して上位を目指す」と話した。

2人は同校の外国語部に在籍。週3回、放課後を中心に英語劇などに取り組みながら語学力を磨いている。糸井さんは「将来は医療関係の仕事に就き、海外で活躍したい」と話した。

指していたので悔しい。来年も出場して上位を目指す」と「悔いのないよう今後も挑戦したい」。部長を務める百瀬さんは「将来は医療関係の仕事に就き、海外で活躍したい」と話した。

んは近く部を引退するが、国際機関で働く目標に向けて「悔いのないよう今後も挑戦したい」。部長を務める百瀬さんは「将来は医療関係の仕事に就き、海外で活躍したい」と話した。